

## 第3章

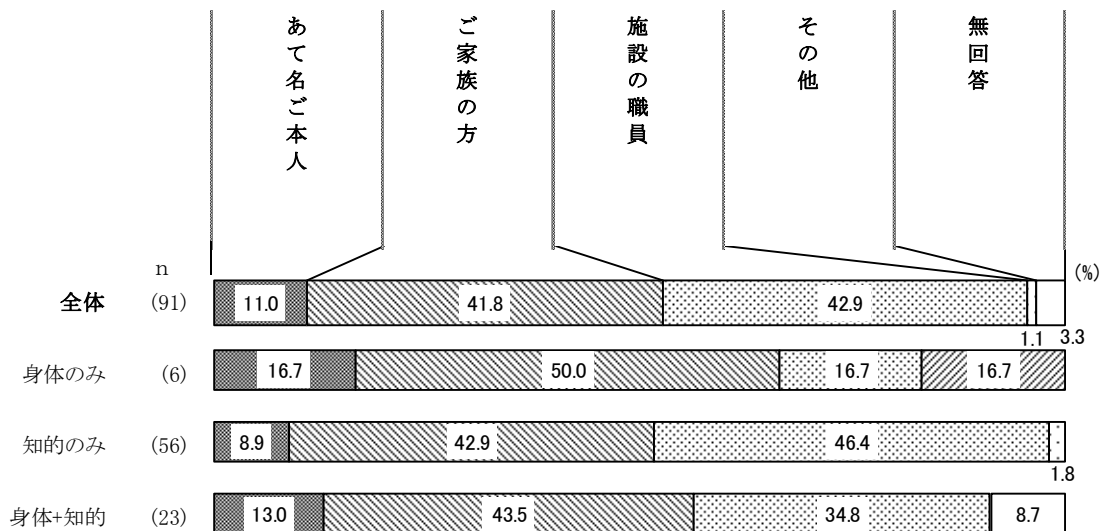
### 施設に入所している方を対象にした調査



# 1. 本人について

## (1) 調査票の回答者

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)



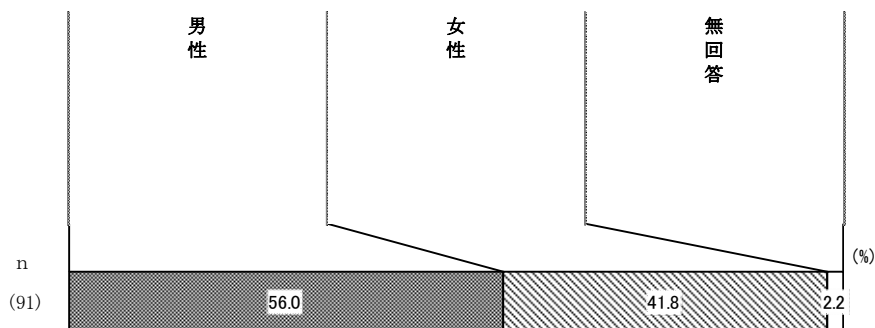
※回答者数のごく少数である知的と精神の重複障害、難病・特定疾患については、個人情報の特定を防止する観点から、次ページ以降に掲載されている障害種類別のグラフ・表から除いています。

調査の回答者は、全体では「施設の職員」が42.9%、「ご家族の方」が41.8%と、いずれも4割を超えて多くなっています。

障害の種類別にみると、「知的のみ」で「施設の職員」が46.4%と他に比べて多くなっています。

## (2) 性別

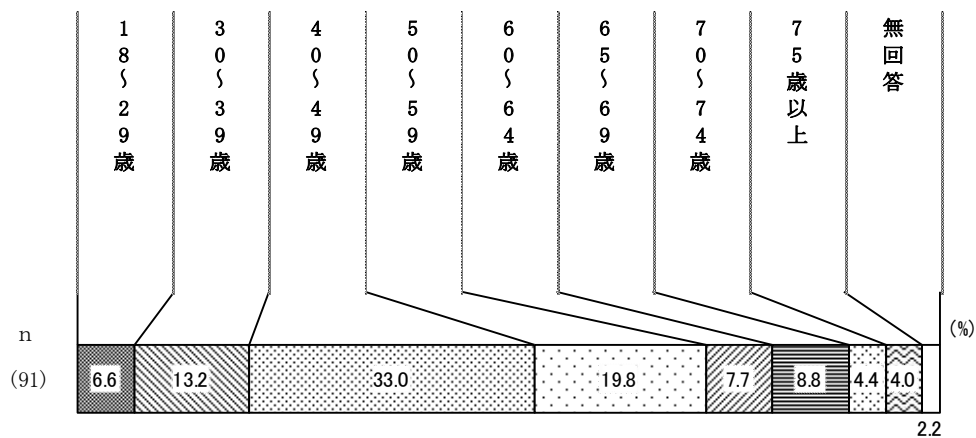
問2 あなたの性別をお聞きます。(〇はひとつ)



性別についてみると、「男性」が56.0%、「女性」が41.8%となっています。

### (3) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。平成28年10月1日現在の満年齢をお書きください。

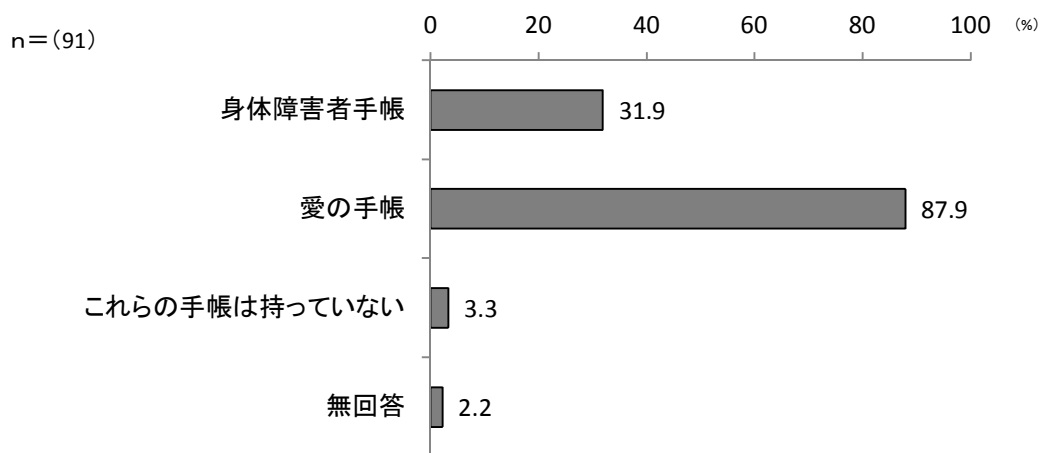


年齢についてみると、「40～49歳」が33.0%と最も多く、次いで「50～59歳」が19.8%、「30～39歳」が13.2%となっています。

### (4) 手帳の所持状況

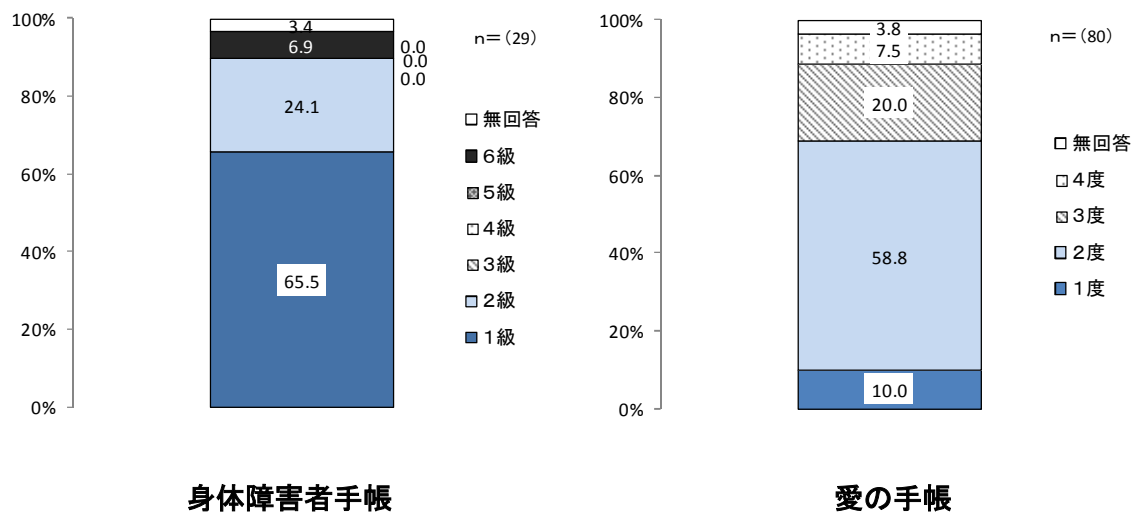
問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(該当するものに○)

#### 1) 手帳の所持状況



手帳の所持状況については、「愛の手帳」が87.9%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が31.9%となっています。

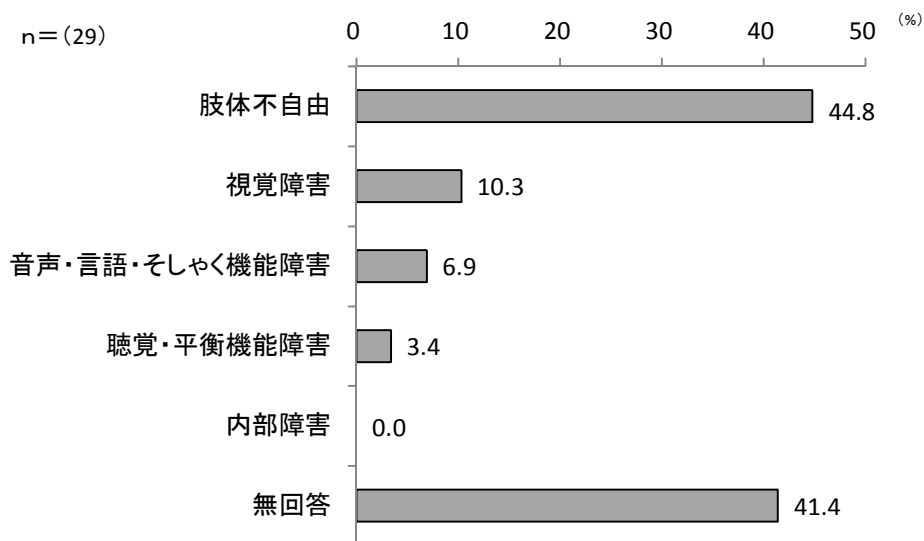
## 《各等級別》



身体障害者手帳の等級については、「1級」が65.5%を占めています。

愛の手帳の等級については、「2級」が58.8%で最も多く、次いで「3級」の20.0%となっています。

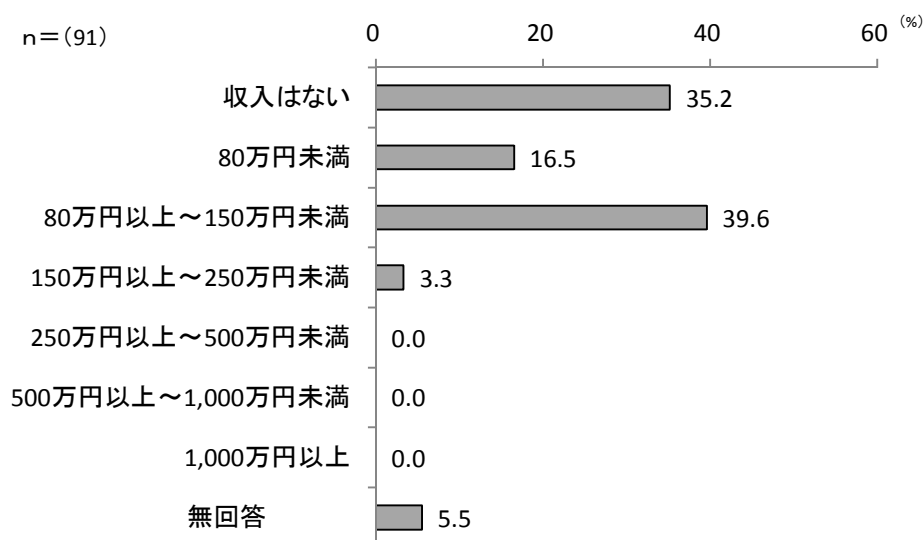
## 2) 身体障害の種類



身体障害の種類については、「肢体不自由」44.8%と最も多く、次いで「視覚障害」が10.3%となっています。

## (5) 年収

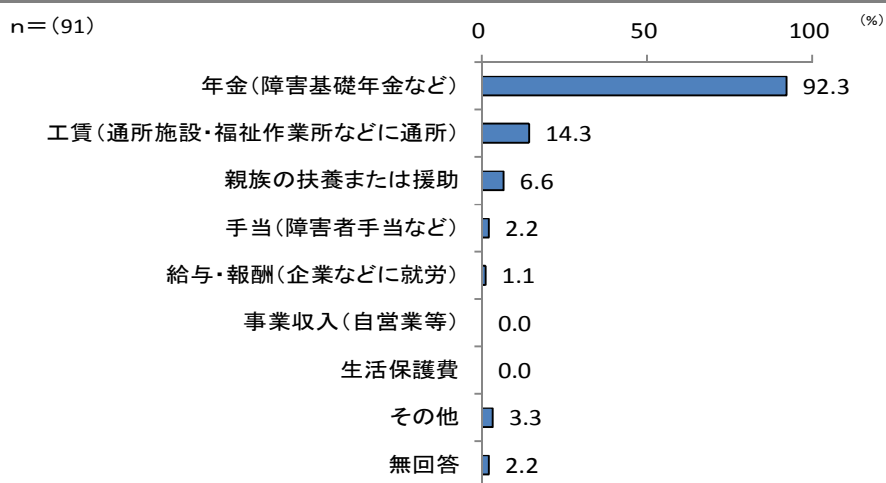
問5 あなたご本人の年収額をお聞きします。税金等を差し引く前の額でお答えください。(〇はひとつ)



年収をみると、「80万円以上 150万円未満」が39.6%で最も多く、次いで「80万円未満」が16.5%となっています。一方、「収入はない」は35.2%となっています。

## (6) 収入の内訳

問6 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きします。(〇は3つまで)

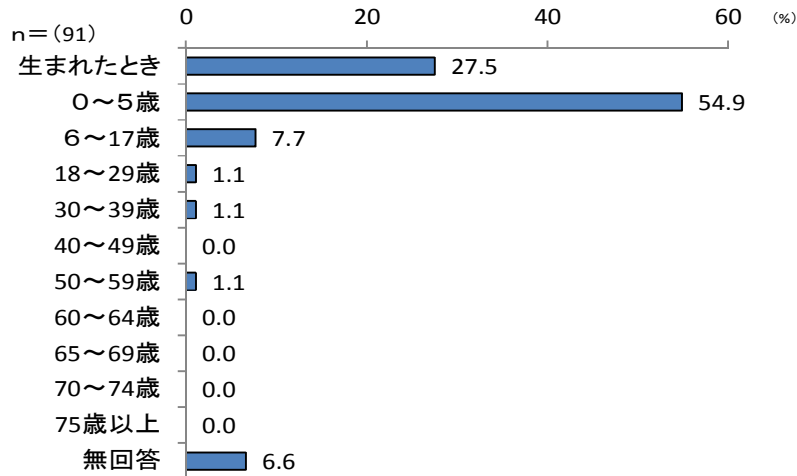


収入の内訳をみると、「年金(障害基礎年金など)」が92.3%を占めています。

## 2. 障害の状況について

### (1) 障害に最初に気づいた時期

問7 あなたの障害や心身の不調について、あなたやご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きます。(〇はひとつ)



家族が障害に気づいた時期をみると、「0～5歳」が54.9%と最も多く、「生まれたとき」が27.5%でこれに次いでいます。

#### 《障害の種類別》

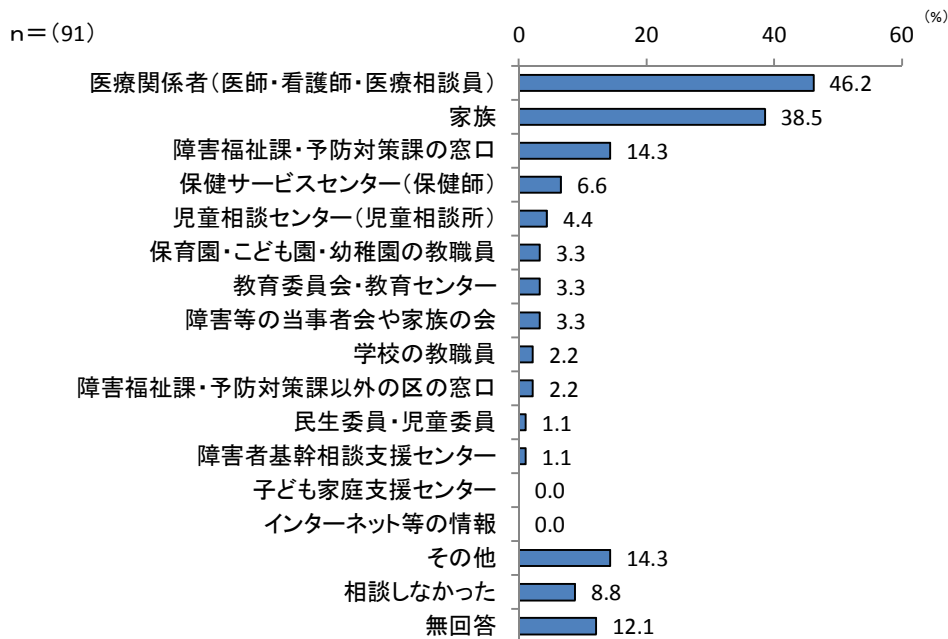
	調査数	生まれたとき	0～5歳	6～17歳	18～29歳	30～39歳	40～49歳
身体のみ	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-
知的のみ	56	28.6	57.1	10.7	-	-	-
身体+知的	23	26.1	65.2	-	-	4.3	-

	調査数	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
身体のみ	6	16.7	-	-	-	-	16.7
知的のみ	56	-	-	-	-	-	3.6
身体+知的	23	-	-	-	-	-	4.3

障害の種類別にみると、「0～5歳」が、「知的のみ」で57.1%、「身体と知的の重複障害」では65.2%といずれも多くなっています。

## (2) 障害に最初に気づいた時の相談相手

問8 障害や心身の不調に気づいたとき、誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)



相談相手を見ると、「医療関係者（医師・看護師・医療相談員）」が46.2%でもっとも多く、次いで「家族」の38.5%となっています。

### 《障害の種類別》

	調査数	家族	学校の教職員	保育園・こども園・幼稚園の教職員	民生委員・児童委員	障害等の当事者会や家族の会	医療関係者(医師・看護師・医療相談員)
身体のみ	6	16.7	16.7	-	-	-	50.0
知的のみ	56	46.4	1.8	5.4	-	5.4	50.0
身体+知的	23	21.7	-	-	4.3	-	47.8

	調査数	障害福祉課・予防対策課の窓口	障害福祉課・予防対策課以外の区の窓口	保健サービスセンター(保健師)	基幹相談支援センター	子ども家庭支援センター	教育委員会・教育センター
身体のみ	6	16.7	16.7	-	-	-	-
知的のみ	56	19.6	-	7.1	1.8	-	5.4
身体+知的	23	4.3	4.3	4.3	-	-	-

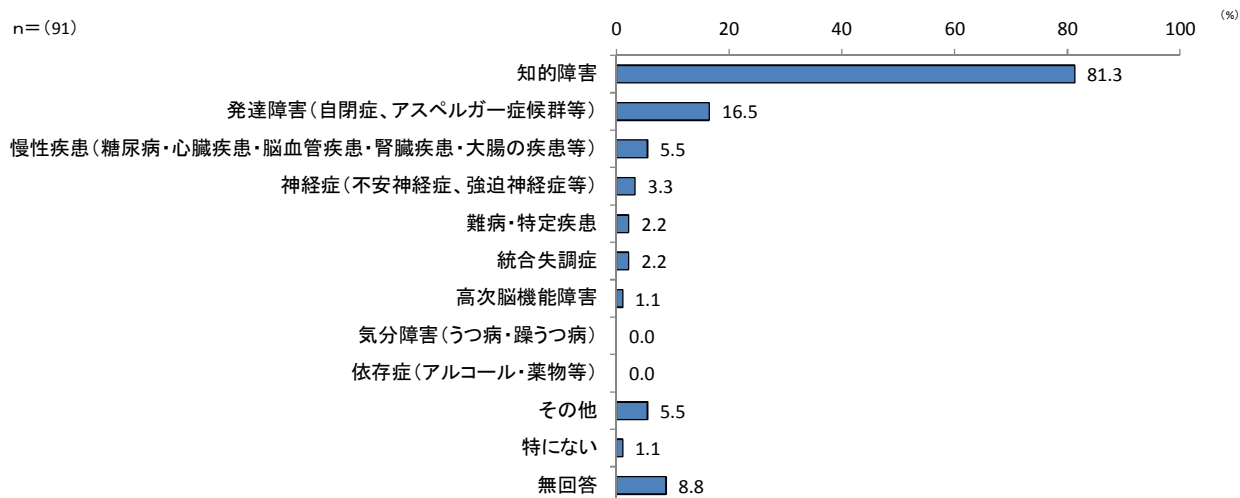
	調査数	児童相談センター(児童相談所)	インターネット等の情報	相談しなかった	その他	無回答
身体のみ	6	-	-	-	33.3	16.7
知的のみ	56	3.6	-	10.7	16.1	8.9
身体+知的	23	8.7	-	8.7	4.3	17.4

障害の種類別にみると、いずれの障害でも医療関係者（医師・看護師・医療相談員）」が約半数で最も多くなっています。



### (3) 疾患・障害の有無

問9 あなたには、次の疾患や障害がありますか。(該当するものに○)



疾病・障害をみると、「知的障害」が81.3%を占めています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	難病・特定疾患	慢性疾患(糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患・腎臓疾患・大腸の疾患等)	統合失調症	気分障害(うつ病・躁うつ病)	神経症(不安神経症、強迫神経症等)	依存症(アルコール・薬物等)
身体のみ	6	-	16.7	-	-	16.7	-
知的のみ	56	1.8	1.8	3.6	-	1.8	-
身体+知的	23	-	8.7	-	-	4.3	-

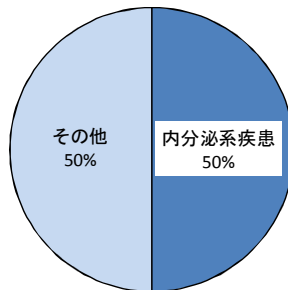
	調査数	知的障害	発達障害(自閉症、アスペルガー症候群等)	高次脳機能障害	特にない	その他	無回答
身体のみ	6	<b>33.3</b>	-	16.7	16.7	-	16.7
知的のみ	56	96.4	<b>21.4</b>	-	-	5.4	1.8
身体+知的	23	65.2	8.7	-	-	8.7	21.7

障害の種類別にみると、「身体のみ」で「知的障害」があるのが33.3%、「知的のみ」で「発達障害(自閉症、アスペルガー症候群等)」があるのが21.4%となっています。

#### (4) 難病・特定疾患の病名

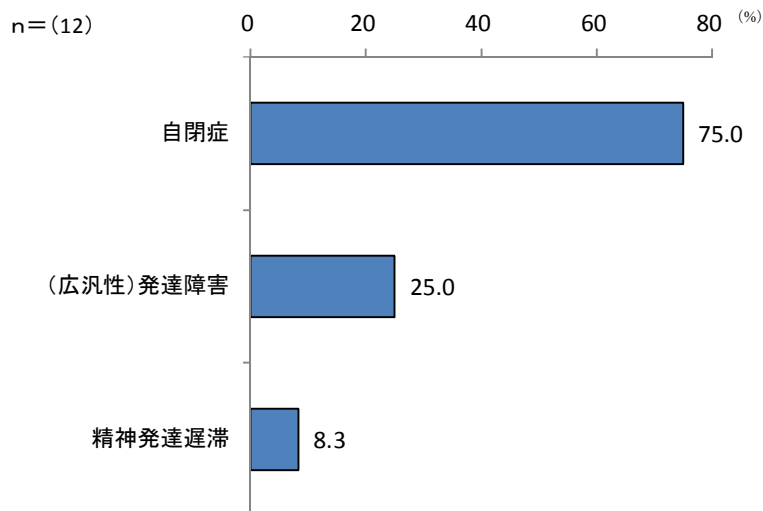
問10 問9で「1 難病・特定疾患」と回答された方にお聞きします。  
病名（東京都発行の難病医療費等助成制度の医療券もしくは診断書に記載されている病名）等  
をお答え下さい。

n=(2)



#### (5) 発達障害の診断名

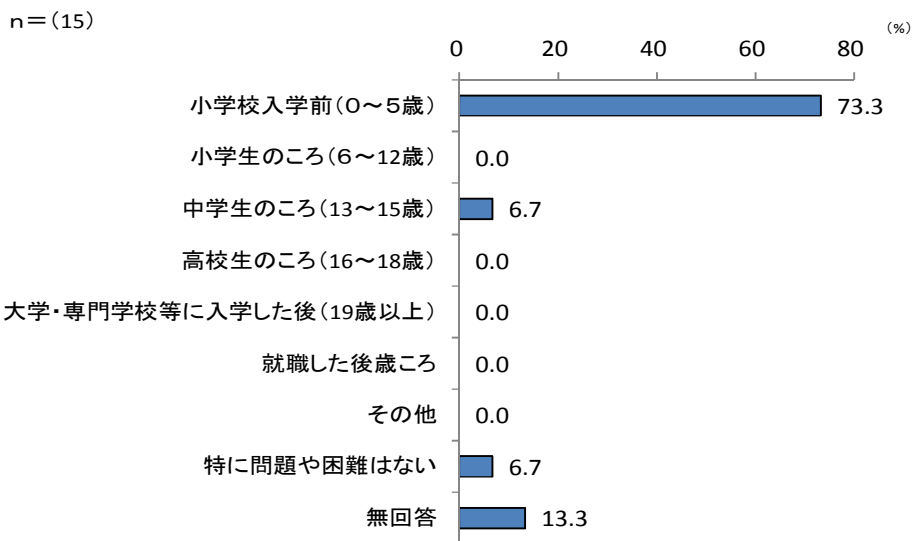
問11 問9で「8 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）」と回答された方にお聞きし  
ます。 診断名をお答え下さい。



## (6) 発達障害の問題・困難に気づいた時期

問12 問9で「8 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）」と回答された方にお聞きします。

あなたご自身が、発達障害に基づく日常生活の問題や困難に気づいたのはいつごろですか。

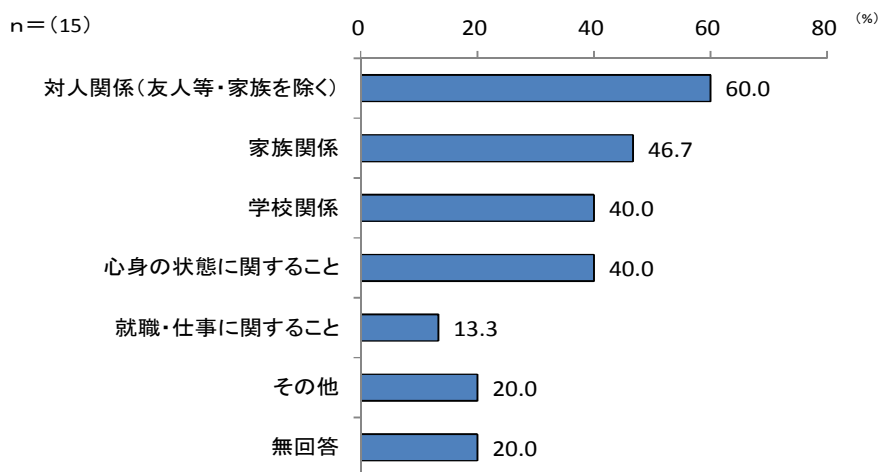


本人が障害に気づいた時期についてみると、「小学校入学前（0～5歳）」が73.3%と最も多くなっています。

## (7) 発達障害の問題・困難の内容

問13 問9で「8 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）」と回答された方にお聞きします。

それはどのような問題や困難でしたか。（○はいくつでも）



発達障害の問題や困難をみると、「対人関係（友人等・家族を除く）」が60%を占めています。

### ●具体的な困難の内容

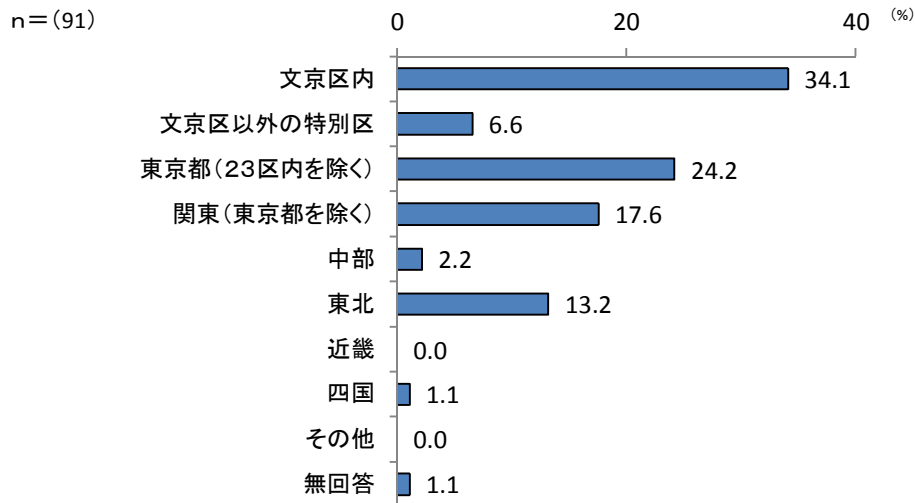
- ・言葉がでない。内容も分からないのでコミュニケーションがとれない。
- ・自己の世界に多く入っており、他人に対する配慮がない。
- ・一人ごと、くりかえしの行動。

### 3. 入所施設について

#### (1) 入所施設のある地域

問14 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きします。(○はひとつ)

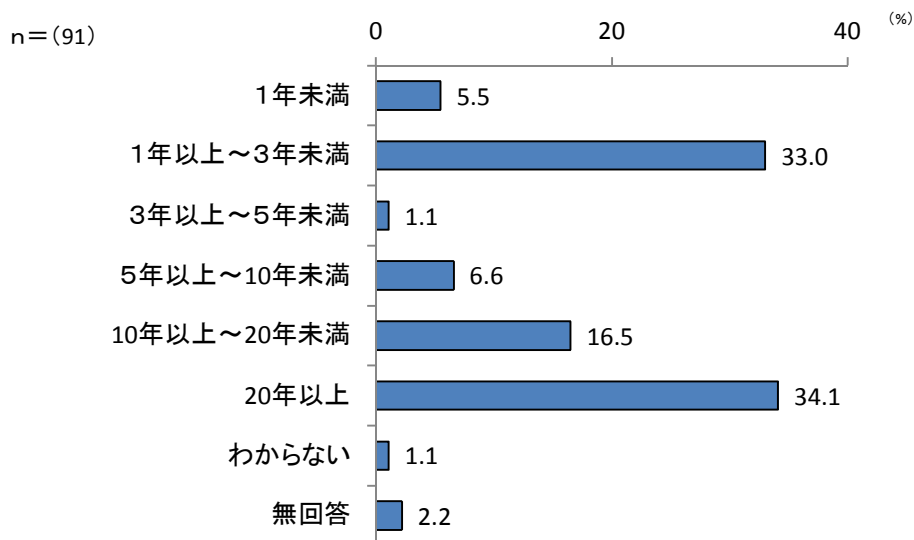
#### (2-1) 入所施設所在地(問14)



入所施設のある地域をみると、「文京区内」が34.1%と最も多く、次いで「東京都(23区内を除く)」が24.2%、「関東(東京都を除く)」が17.6%となっています。

#### (2) 入所期間

問15 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きします。(○はひとつ)



入所期間をみると、「1年以上~3年未満」(33.0%)と「20年以上」(34.1%)がそれぞれ3割を超えています。

《障害の種類別》

	調査数	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
身体のみ	6	-	66.7	-	-	-	16.7
知的のみ	56	7.1	35.7	1.8	5.4	14.3	33.9
身体+知的	23	-	17.4	-	8.7	26.1	43.5

	調査数	わからない	無回答
身体のみ	6	16.7	-
知的のみ	56	-	1.8
身体+知的	23	-	4.3

障害の種類別にみると、「身体のみ」と「知的のみ」では「1年以上～3年未満」が最も多くなっています。

一方、「身体と知的の重複障害」では「20年以上」が43.5%で最も多くなっています。

《地域別》

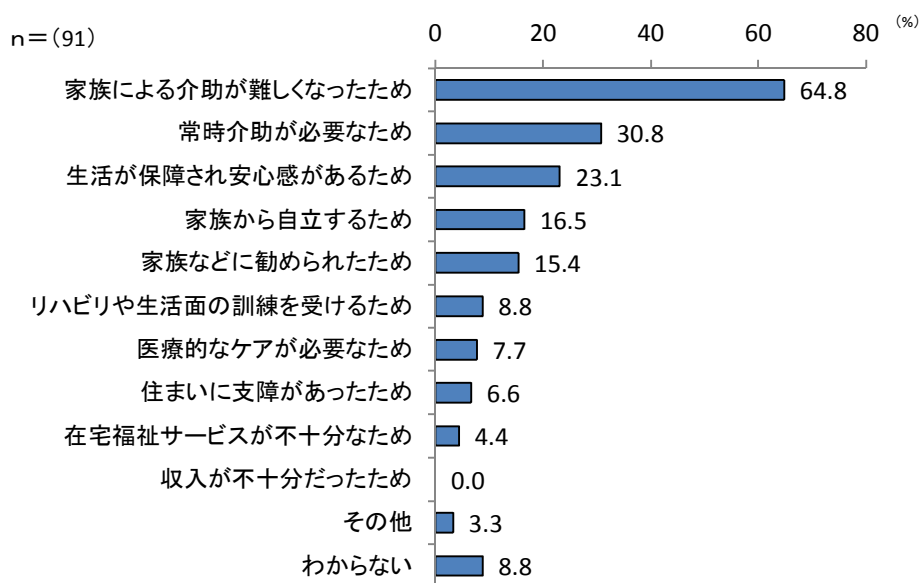
	調査数	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
文京区内	31	9.7	90.3	-	-	-	-
文京区以外の特別区	6	16.7	-	-	-	66.7	16.7
東京都（23区内を除く）	22	-	4.5	-	-	27.3	54.5
関東（東京都を除く）	16	-	-	6.3	18.8	18.8	56.3
関東以外	15	6.7	-	-	20.0	13.3	60.0

	調査数	わからない	無回答
文京区内	31	-	-
文京区以外の特別区	6	-	-
東京都（23区内を除く）	22	4.5	9.1
関東（東京都を除く）	16	-	-
関東以外	15	-	-

地域別にみると、「文京区内」では「1年以上～3年未満」が90.3%を占めているのに対して、「東京都（23区内を除く）」、「関東（東京都を除く）」、「関東以外」では「20年以上」が半数以上となっています。

### (3) 入所を決めた理由

問 16 あなたが現在の施設に入所することに決めた理由は何ですか。(〇は3つまで)



施設入所を決めた理由をみると、「家族による介助が難しくなったため」が64.8%と最も多く、次いで「常時介助が必要なため」の30.8%となっています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	家族から自立するため	リハビリや生活面の訓練を受けるため	生活が保障され安心感があるため	家族による介助が難しくなったため	常時介助が必要なため	医療的なケアが必要なため
身体のみ	6	33.3	16.7	<b>66.7</b>	50.0	16.7	16.7
知的のみ	56	16.1	7.1	23.2	<b>69.6</b>	26.8	3.6
身体+知的	23	17.4	13.0	8.7	<b>69.6</b>	47.8	17.4

	調査数	住まいに支障があったため	在宅福祉サービスが不十分なため	収入が不十分だったため	家族などに勧められたため	わからない	その他
身体のみ	6	-	-	-	-	16.7	16.7
知的のみ	56	5.4	7.1	-	14.3	8.9	-
身体+知的	23	4.3	-	-	17.4	4.3	8.7

障害の種類別にみると、「身体のみ」では「生活が保障され安心感があるため」が66.7%と多く、「知的のみ」および「身体と知的の重複障害」では「家族による介助が難しくなったため」が7割近くと多くなっています。

《地域別》

	調査数	家族から自立するため	リハビリや生活面の訓練を受けるため	生活が保障され安心感があるため	家族による介助が難しくなったため	常時介助が必要なため	医療的なケアが必要なため
文京区内	31	32.3	3.2	38.7	<b>71.0</b>	38.7	6.5
文京区以外の特別区	6	16.7	-	33.3	33.3	<b>50.0</b>	16.7
東京都（23区を除く）	22	9.1	9.1	9.1	<b>68.2</b>	36.4	13.6
関東（東京都を除く）	16	-	25.0	25.0	<b>75.0</b>	18.8	6.3
関東以外	15	6.7	6.7	6.7	<b>53.3</b>	13.3	-

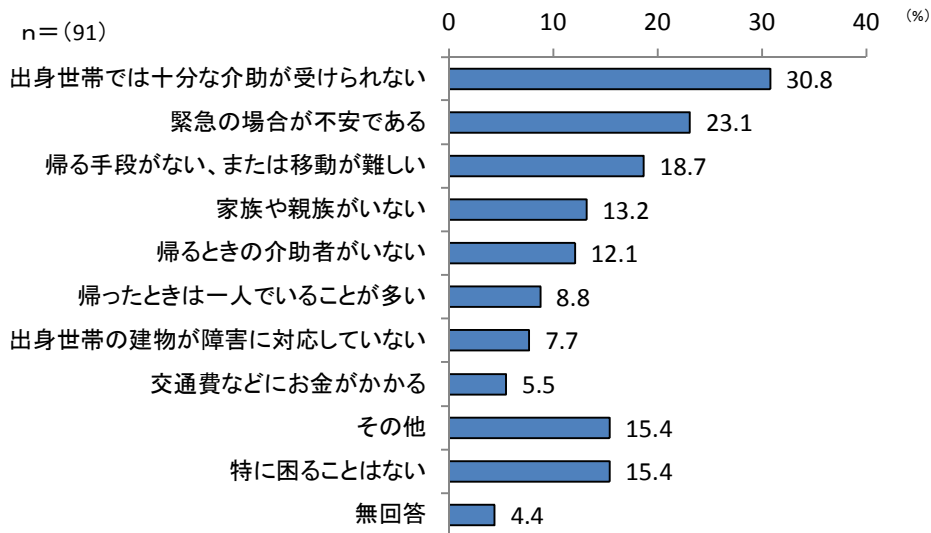
	調査数	住まいに支障があったため	在宅福祉サービスが不十分なため	収入が不十分だったため	家族などに勧められたため	わからない	その他
文京区内	31	9.7	3.2	-	19.4	-	3.2
文京区以外の特別区	6	-	16.7	-	33.3	16.7	-
東京都（23区を除く）	22	-	-	-	-	9.1	9.1
関東（東京都を除く）	16	18.8	-	-	18.8	6.3	-
関東以外	15	-	13.3	-	20.0	26.7	-

地域別にみると、「文京区以外の特別区」以外の地域では「家族による介助が難しくなったため」が最も多くなっています。

## 4. 施設での生活について

### (1) 帰省時に困ること

問 17 あなたが一時、出身世帯（施設に入る前に住んでいた家）に帰るときなどに困ることはありますか。（〇は3つまで）



一時的に出身世帯に帰る際に困ることとしては、「出身世帯では十分な介助が受けられない」が30.8%で最も多く、次いで「緊急の場合が不安である」が23.1%となっています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	帰る手段がない、または移動が難しい	帰るときの介助者がいない	交通費などにお金がかかる	出身世帯の建物が障害に対応していない	出身世帯では十分な介助が受けられない	帰ったときは一人であることが多い
身体のみ	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	-
知的のみ	56	12.5	12.5	3.6	5.4	<b>28.6</b>	10.7
身体+知的	23	<b>39.1</b>	8.7	8.7	8.7	<b>43.5</b>	8.7

	調査数	家族や親族がいない	緊急の場合が不安である	特に困ることはない	その他	無回答
身体のみ	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7
知的のみ	56	12.5	<b>26.8</b>	12.5	21.4	5.4
身体+知的	23	8.7	17.4	8.7	8.7	-

障害の種類別にみると、「知的のみ」および「身体と知的の重複障害」では「出身世帯では十分な介助が受けられない」が最も多くなっています。



《地域別》

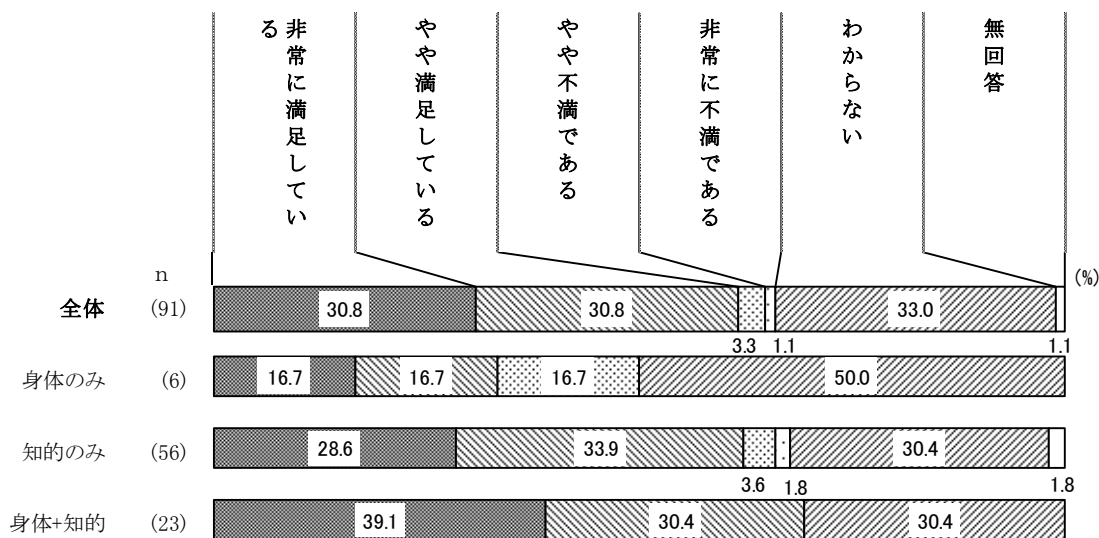
	調査数	帰る手段がない、または移動が難しい	帰るときの介助者がいない	交通費などにお金がかかる	出身世帯の建物が障害に対応していない	出身世帯では十分な介助が受けられない	帰ったときは一人であることが多い
文京区内	31	16.1	9.7	6.5	9.7	<b>22.6</b>	16.1
文京区以外の特別区	6	16.7	16.7	-	16.7	<b>33.3</b>	-
東京都（23区を除く）	22	<b>22.7</b>	<b>22.7</b>	4.5	9.1	<b>22.7</b>	-
関東（東京都を除く）	16	<b>25.0</b>	12.5	-	6.3	<b>31.3</b>	6.3
関東以外	15	13.3	-	13.3	-	<b>60.0</b>	6.7

	調査数	家族や親族がいない	緊急の場合が不安である	特に困ることはない	その他	無回答
文京区内	31	16.1	<b>35.5</b>	19.4	12.9	3.2
文京区以外の特別区	6	-	16.7	16.7	<b>33.3</b>	16.7
東京都（23区を除く）	22	18.2	13.6	13.6	9.1	-
関東（東京都を除く）	16	6.3	31.3	18.8	<b>25.0</b>	6.3
関東以外	15	13.3	6.7	6.7	13.3	6.7

地域別にみると、「文京区内」では、「緊急の場合が不安である」が35.5%で最も多く、その他の地域では「出身世帯では十分な介助が受けられない」が最も多くなっています。

（2）施設生活の満足度

問 18 あなたは、施設での生活に満足していますか。（○はひとつ）



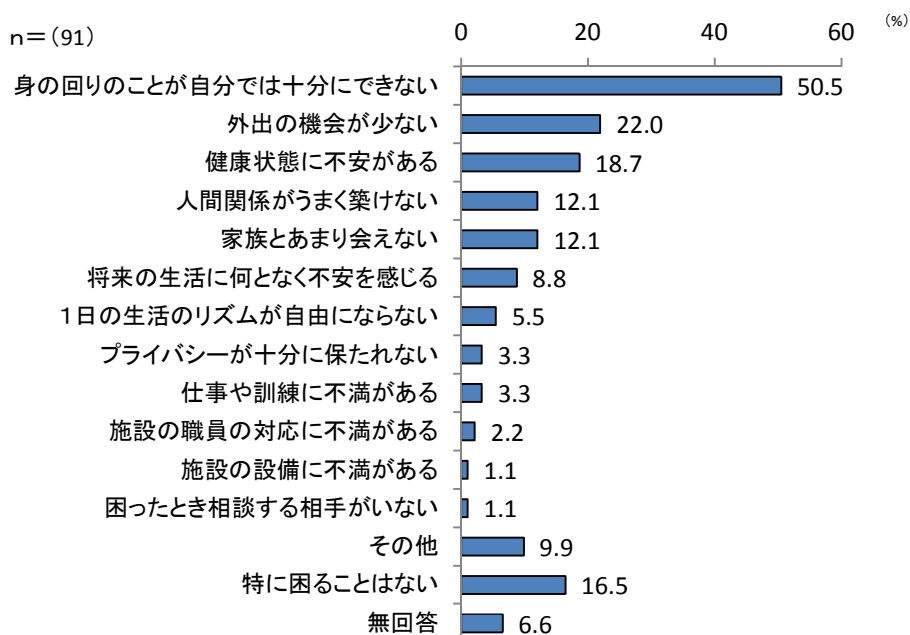
施設での生活の満足度をみると、「非常に満足している」と「やや満足している」がともに30.8%となっています。

障害の種類別にみると、「知的のみ」では、「非常に満足している」が28.6%で、これに「やや満足している」の33.9%を合わせた《満足度》は62.5%となっています。

また、「身体と知的の重複障害」では、「非常に満足している」が39.1%で、これに「やや満足している」の30.4%を合わせた《満足度》は69.5%となっています。

### (3) 現在の暮らしの中で困ることや不安

問 19 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。  
(○は3つまで)



現在の暮らしの中で困ることや不安をみると、「身の回りのことが自分では十分にできない」が50.5%と半数を占めています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	身の回りのことが自分では十分にできない	健康状態に不安がある	プライバシーが十分に保たれない	1日の生活のリズムが自由にならない	施設の設備に不満がある	仕事や訓練に不満がある	外出の機会が少ない	施設の職員の対応に不満がある
身体のみ	6	50.0	33.3	-	-	-	-	33.3	-
知的のみ	56	53.6	21.4	5.4	5.4	1.8	5.4	21.4	1.8
身体+知的	23	52.2	13.0	-	8.7	-	-	21.7	4.3

	調査数	人間関係がうまく築けない	困ったとき相談する相手がいない	家族とあまり会えない	将来の生活に何となく不安を感じる	特に困ることはない	その他	無回答
身体のみ	6	16.7	16.7	-	-	-	50.0	16.7
知的のみ	56	12.5	-	10.7	10.7	16.1	8.9	5.4
身体+知的	23	8.7	-	13.0	4.3	17.4	4.3	8.7

障害の種類別にみると、いずれの障害でも「身の回りのことが自分では十分にできない」が半数以上を占め、次いで「外出の機会が少ない」となっています。

《地域別》

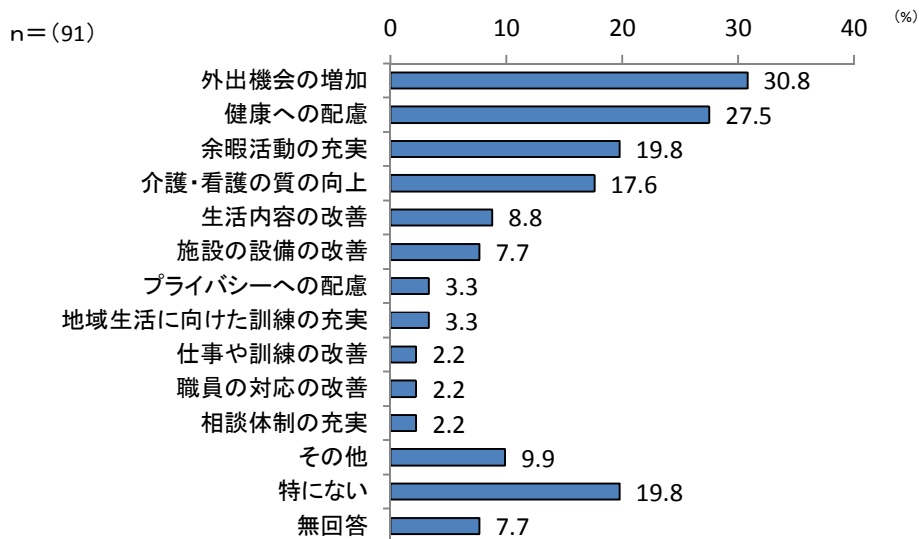
	調査数	身の回りのことが自分で十分でない	健康状態に不安がある	プライバシーが十分に保たれない	1日の生活のリズムが自由にならない	施設の設備に不満がある	仕事や訓練に不満がある	外出の機会が少ない	施設の職員の対応に不満がある
文京区内	31	67.7	22.6	6.5	3.2	-	3.2	29.0	-
文京区以外の特別区	6	66.7	33.3	-	-	-	16.7	16.7	-
東京都（23区を除く）	22	50.0	4.5	-	4.5	4.5	4.5	18.2	-
関東（東京都を除く）	16	25.0	31.3	6.3	12.5	-	-	25.0	6.3
関東以外	15	40.0	13.3	-	6.7	-	-	13.3	6.7

	調査数	人間関係がうまく築けない	困ったとき相談する相手がいない	家族とあまり会えない	将来の生活に何となく不安を感じる	特に困ることはない	その他	無回答
文京区内	31	6.5	3.2	3.2	19.4	6.5	6.5	12.9
文京区以外の特別区	6	16.7	-	-	16.7	-	-	-
東京都（23区を除く）	22	18.2	-	18.2	-	13.6	13.6	4.5
関東（東京都を除く）	16	18.8	-	18.8	6.3	18.8	6.3	6.3
関東以外	15	6.7	-	20.0	-	40.0	20.0	-

地域別にみると、「文京区内」や「文京区以外の特別区」では、「身の回りのことが自分で十分でない」が他に比べて多くなっています。

（４）入所施設に対する要望

問 20 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。（〇は3つまで）



施設に対する要望としては、「外出機会の増加」が30.8%で最も多く、次いで「健康への配慮」が27.5%となっています。

## 《障害の種類別》

	調査数	介護・看護の質の向上	健康への配慮	プライバシーへの配慮	生活内容の改善	施設設備の改善	仕事や訓練の改善	外出機会の増加
身体のみ	6	16.7	-	-	16.7	16.7	-	<b>66.7</b>
知的のみ	56	16.1	<b>32.1</b>	5.4	8.9	7.1	3.6	<b>25.0</b>
身体+知的	23	<b>26.1</b>	17.4	-	8.7	8.7	-	<b>34.8</b>

	調査数	職員の対応の改善	余暇活動の充実	相談体制の充実	地域生活に向けた訓練の充実	特にない	その他	無回答
身体のみ	6	-	-	16.7	-	-	16.7	-
知的のみ	56	1.8	<b>25.0</b>	1.8	3.6	23.2	8.9	8.9
身体+知的	23	4.3	13.0	-	4.3	17.4	8.7	4.3

障害の種類別にみると、「身体のみ」や身体の知的の重複障害では「外出機会の増加」が最も多く、「知的のみ」では「健康への配慮」が32.1%で最も多くなっています。

## 《地域別》

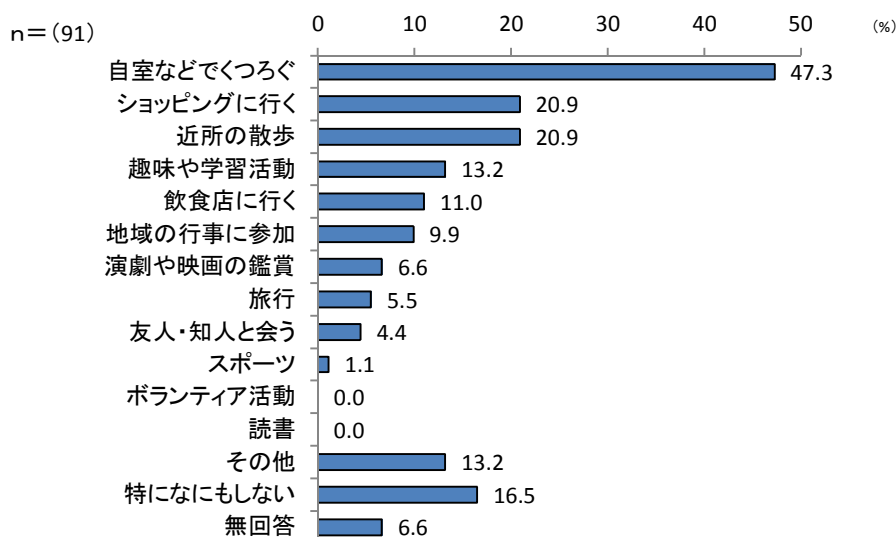
	調査数	介護・看護の質の向上	健康への配慮	プライバシーへの配慮	生活内容の改善	施設設備の改善	仕事や訓練の改善	外出機会の増加
文京区内	31	25.8	<b>41.9</b>	-	12.9	6.5	-	<b>35.5</b>
文京区以外の特別区	6	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-
東京都（23区内を除く）	22	18.2	13.6	-	4.5	4.5	4.5	<b>27.3</b>
関東（東京都を除く）	16	12.5	12.5	18.8	6.3	18.8	-	<b>43.8</b>
関東以外	15	6.7	<b>33.3</b>	-	6.7	6.7	-	<b>26.7</b>

	調査数	職員の対応の改善	余暇活動の充実	相談体制の充実	地域生活に向けた訓練の充実	特にない	その他	無回答
文京区内	31	-	16.1	6.5	-	12.9	6.5	12.9
文京区以外の特別区	6	-	16.7	-	16.7	<b>50.0</b>	-	-
東京都（23区内を除く）	22	-	<b>22.7</b>	-	9.1	13.6	18.2	4.5
関東（東京都を除く）	16	-	25.0	-	-	<b>31.3</b>	6.3	-
関東以外	15	6.7	20.0	-	-	20.0	13.3	13.3

地域別にみると、「文京区内」と「関東以外」では「健康への配慮」が最も多く、「東京都（23区を除く）」と「関東（東京都を除く）」では「外出機会の増加」が最も多くなっています。

## (5) 余暇の過ごし方

問 21 あなたは、休日など時間に余裕のあるとき、主にどのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)



休日や時間に余裕があるときの過ごし方をみると、「自室などでくつろぐ」が47.3%で最も多く、次いで「ショッピングに行く」と「近所の散歩」が20.9%となっています。

### 《障害の種類別》

	調査数	趣味や学習活動	スポーツ	ボランティア活動	友人・知人と会う	演劇や映画の鑑賞	ショッピングに行く
身体のみ	6	16.7	-	-	-	-	-
知的のみ	56	14.3	1.8	-	5.4	7.1	23.2
身体+知的	23	13.0	-	-	-	8.7	<b>21.7</b>

	調査数	飲食店に行く	読書	旅行	自室などでくつろぐ	地域の行事に参加	近所の散歩
身体のみ	6	-	-	-	<b>50.0</b>	-	-
知的のみ	56	16.1	-	5.4	<b>58.9</b>	10.7	<b>26.8</b>
身体+知的	23	4.3	-	8.7	<b>21.7</b>	8.7	13.0

	調査数	特になにもしない	その他	無回答
身体のみ	6	-	<b>33.3</b>	16.7
知的のみ	56	12.5	8.9	3.6
身体+知的	23	<b>26.1</b>	17.4	13.0

障害の種類別にみると、「身体のみ」および「知的のみ」では「自室などでくつろぐ」が半数以上で最も多く、「身体と知的の重複障害」では「特になにもしない」が26.1%で最も多くなっています。

《地域別》

	調査数	趣味や学習活動	スポーツ	ボランティア活動	友人・知人と会う	演劇や映画の鑑賞	ショッピングに行く
文京区内	31	6.5	3.2	-	6.5	9.7	16.1
文京区以外の特別区	6	33.3	-	-	-	-	33.3
東京都（23区内を除く）	22	4.5	-	-	-	9.1	27.3
関東（東京都を除く）	16	37.5	-	-	6.3	-	25.0
関東以外	15	6.7	-	-	6.7	6.7	13.3

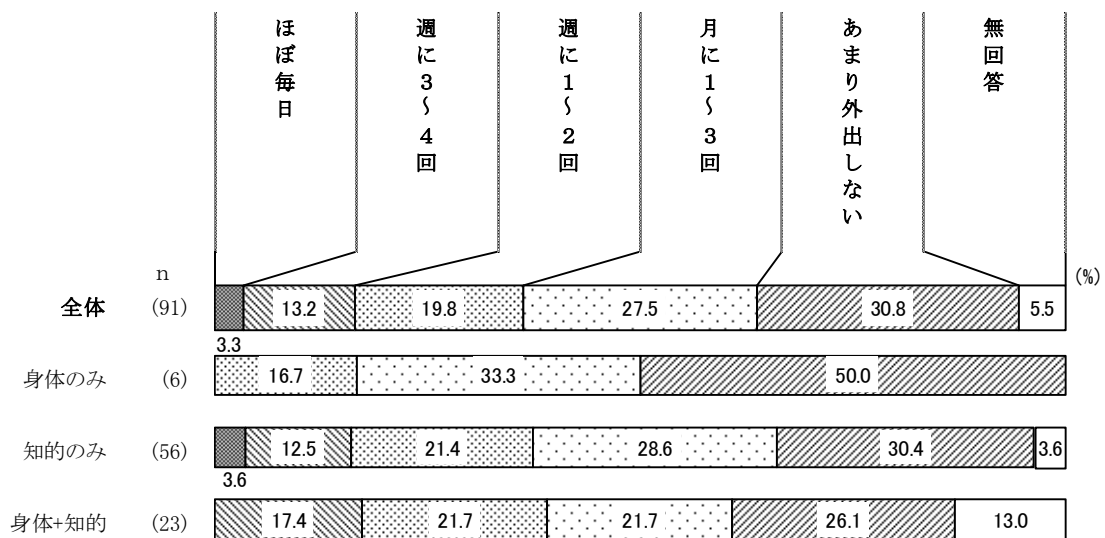
	調査数	飲食店に行く	読書	旅行	自室などでくつろぐ	地域の行事に参加	近所の散歩
文京区内	31	19.4	-	6.5	32.3	6.5	22.6
文京区以外の特別区	6	-	-	-	33.3	33.3	50.0
東京都（23区内を除く）	22	9.1	-	-	36.4	4.5	18.2
関東（東京都を除く）	16	12.5	-	18.8	87.5	6.3	25.0
関東以外	15	-	-	-	60.0	20.0	6.7

	調査数	特になにもしない	その他	無回答
文京区内	31	16.1	12.9	16.1
文京区以外の特別区	6	-	-	-
東京都（23区内を除く）	22	27.3	22.7	4.5
関東（東京都を除く）	16	-	-	-
関東以外	15	20.0	20.0	-

地域別にみると、「文京区以外の特別区」を除いていずれの地域でも「自室などでくつろぐ」が最も多くなっています。

(6) 外出頻度

問 22 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

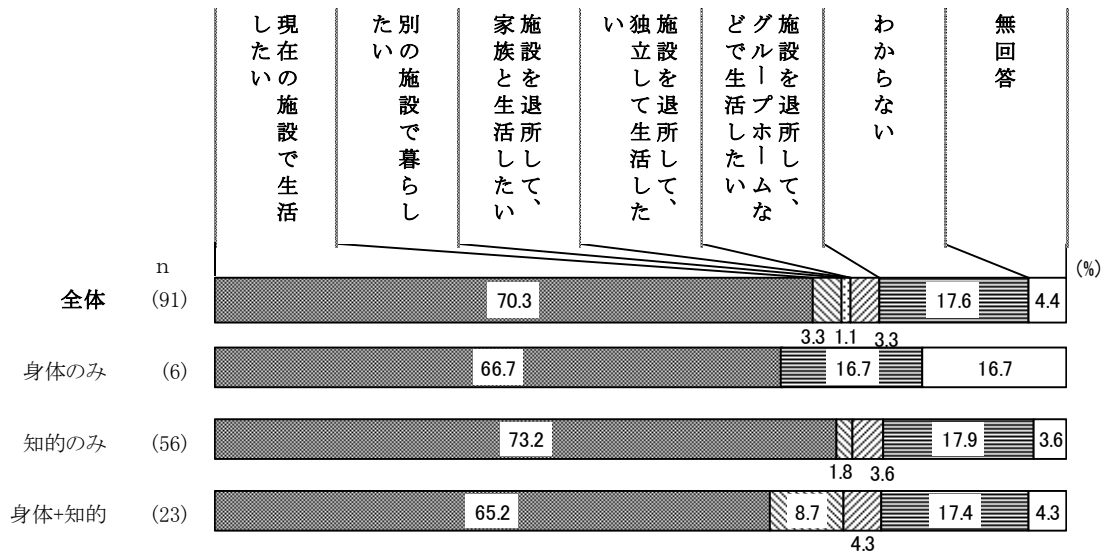


外出頻度をみると、「あまり外出しない」が約3割を占めて最も多くなっています。障害の種類別では、特に目立った特徴はありません。

## 5. 今後の暮らし方について

### (1) 今後希望する生活

問 23 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)



今後希望する暮らし方としては、「現在の施設で暮らしたい」が約7割を占めています。

障害の種類別にみると、「身体と知的の重複障害」では「別の施設で暮らしたい」が8.7%と比較的多くなっています。

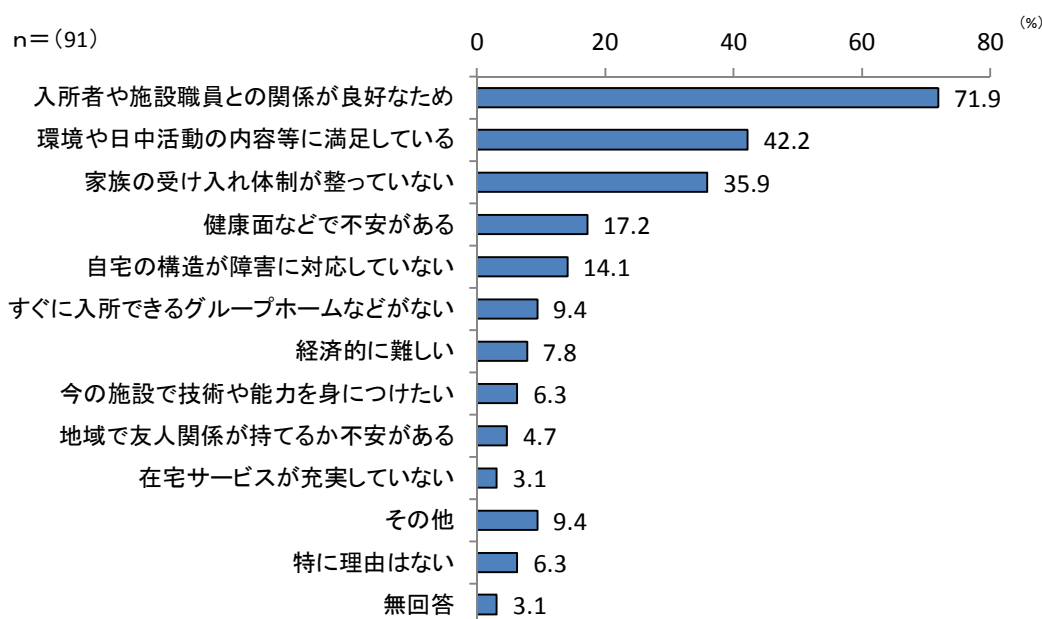
#### 《地域別》

	調査数	現在の施設で生活したい (%)	別の施設で暮らしたい (%)	施設を退所して、家族と生活したい (%)	施設を退所して、独立して生活したい (%)	施設を退所して、グループホームなどで生活したい (%)	わからない (%)	無回答 (%)
文京区内	31	87.1	-	-	-	-	9.7	3.2
文京区以外の特別区	6	83.3	-	-	-	16.7	-	-
東京都（23区内を除く）	22	63.6	9.1	-	-	4.5	18.2	4.5
関東（東京都を除く）	16	68.8	-	-	-	6.3	18.8	6.3
関東以外	15	40.0	6.7	6.7	-	-	40.0	6.7

地域別にみると、「文京区内」と「文京区以外の特別区」では「現在の施設で暮らしたい」が8割を超えて特に多くなっています。

## (2) 現在の施設で生活を続けたい理由

問 24 問 23 で「1 現在の施設で生活したい」と回答した方にお聞きします。  
現在の施設での生活を続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)



現在の施設で生活を続けたい理由をみると、「入所者や施設職員との関係が良好なため」が71.9%で最も多く、次いで「環境や日中活動の内容等に満足している」が42.2%となっています。

### 《障害の種類別》

	調査数	入所者や施設職員との関係が良好なため	環境や日中活動の内容等に満足している	今の施設で技術や能力を身につけたい	すぐに入所できるグループホームなどが無い	在宅サービスが充実していない	自宅の構造が障害に対応していない	健康面などで不安がある
身体のみ	6	50.0	25.0	-	-	-	25.0	50.0
知的のみ	56	78.0	48.8	9.8	9.8	4.9	7.3	17.1
身体+知的	23	60.0	26.7	-	6.7	-	33.3	6.7

	調査数	経済的に難しい	家族の受け入れ体制が整っていない	地域で友人関係が持てるか不安がある	特に理由はない	その他	無回答
身体のみ	6	25.0	50.0	-	-	-	-
知的のみ	56	4.9	36.6	4.9	7.3	9.8	2.4
身体+知的	23	13.3	33.3	6.7	6.7	6.7	6.7

障害の種類別にみると、いずれの障害でも「入所者や施設職員との関係が良好なため」が最も多く、特に「知的のみ」では78.0%となっています。



## 《地域別》

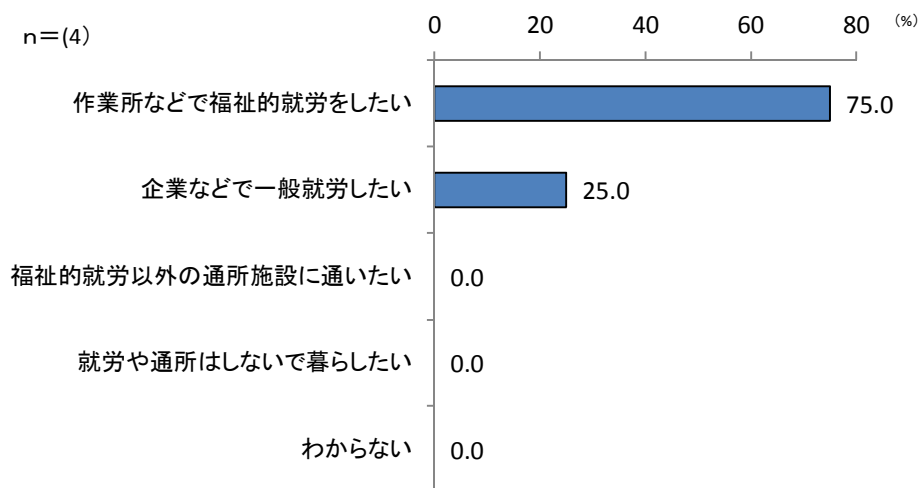
	調査数	入所者や施設職員との関係が良好なため	環境や日中活動の内容等に満足している	今の施設で技術や能力を身につけた	すぐに入所できるグループホームなどが無い	在宅サービスが充実していない	自宅の構造が障害に対応していない	健康面などで不安がある
文京区内	27	70.4	44.4	11.1	11.1	-	18.5	18.5
文京区以外の特別区	5	80.0	80.0	-	-	20.0	20.0	20.0
東京都（23区内を除く）	14	78.6	28.6	-	7.1	-	14.3	14.3
関東（東京都を除く）	11	63.6	45.5	9.1	18.2	9.1	9.1	18.2
関東以外	6	66.7	33.3	-	-	-	-	16.7

	調査数	経済的に難しい	家族の受け入れ体制が整っていない	地域で友人関係が持てるか不安がある	特に理由はない	その他	無回答
文京区内	27	7.4	37.0	3.7	3.7	14.8	7.4
文京区以外の特別区	5	-	20.0	-	20.0	-	-
東京都（23区内を除く）	14	14.3	28.6	14.3	7.1	14.3	-
関東（東京都を除く）	11	9.1	36.4	-	9.1	-	-
関東以外	6	-	66.7	-	-	-	-

地域別にみると、「文京区以外の特別区」と「東京都（23区内を除く）」では「入所者や施設職員との関係が良好なため」が8割前後と特に多くなっています。

### （3）地域での暮らし方の希望

問 25 問 23 で「施設を退所したい(3~5)」と回答した方にお聞きします。  
地域でどのような暮らし方をしたいと思いますか。(○はひとつ)

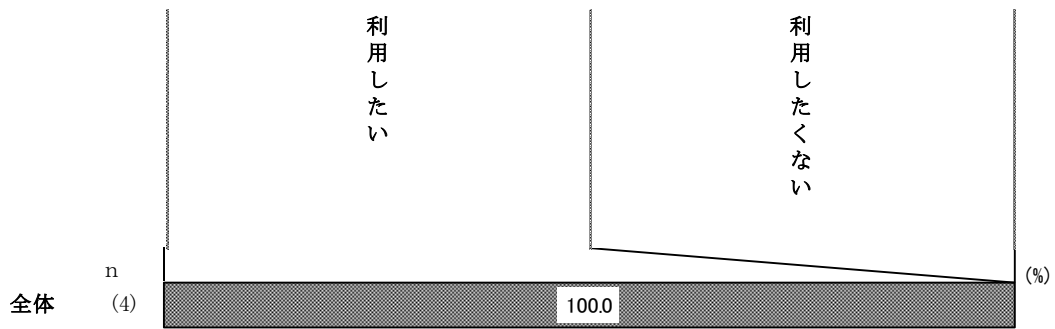


地域での暮らし方の希望をみると、4人中3人が「作業所などで福祉的就労をしたい」と回答しています。

#### (4) 地域移行支援・地域定着支援の利用意向

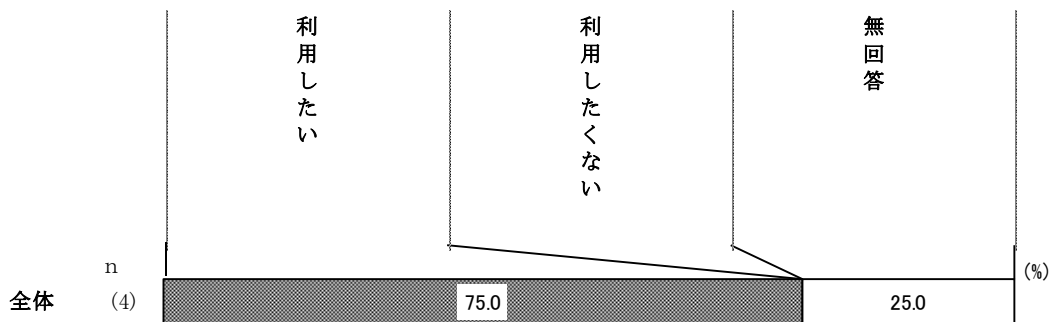
問 26 問 23で「施設を退所したい(3~5)」と回答した方にお聞きします。  
地域移行支援・地域定着支援を利用したいと思いませんか。(○はそれぞれひとつ)

##### 1) 地域移行支援



地域移行支援の利用意向をみると、4人全員が「利用したい」と回答しています。

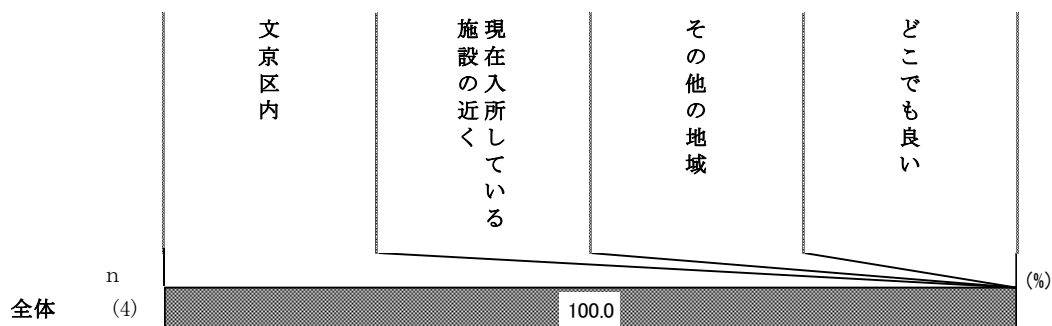
##### 2) 地域定着支援



地域定着支援の利用意向をみると、4人中3人が「利用したい」と回答しています。

### (5) 退所後に暮らしたい地域

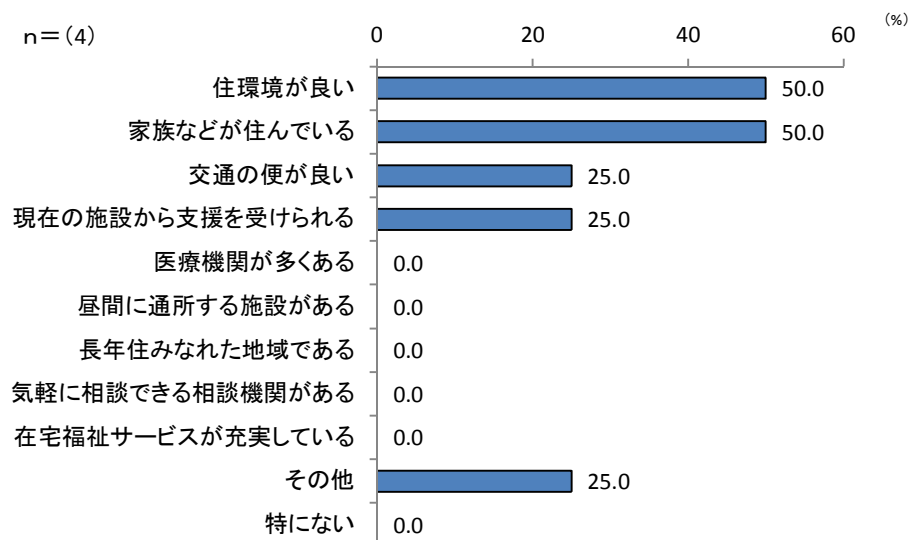
問 27 問 23 で「施設を退所したい(3~5)」と回答した方にお聞きします。  
退所後はどの地域で暮らしたいと思いますか。(○はひとつ)



退所後に暮らしたい地域をみると、4人全員が「文京区内」と回答しています。

### (6) 退所後に暮らす地域に望むこと

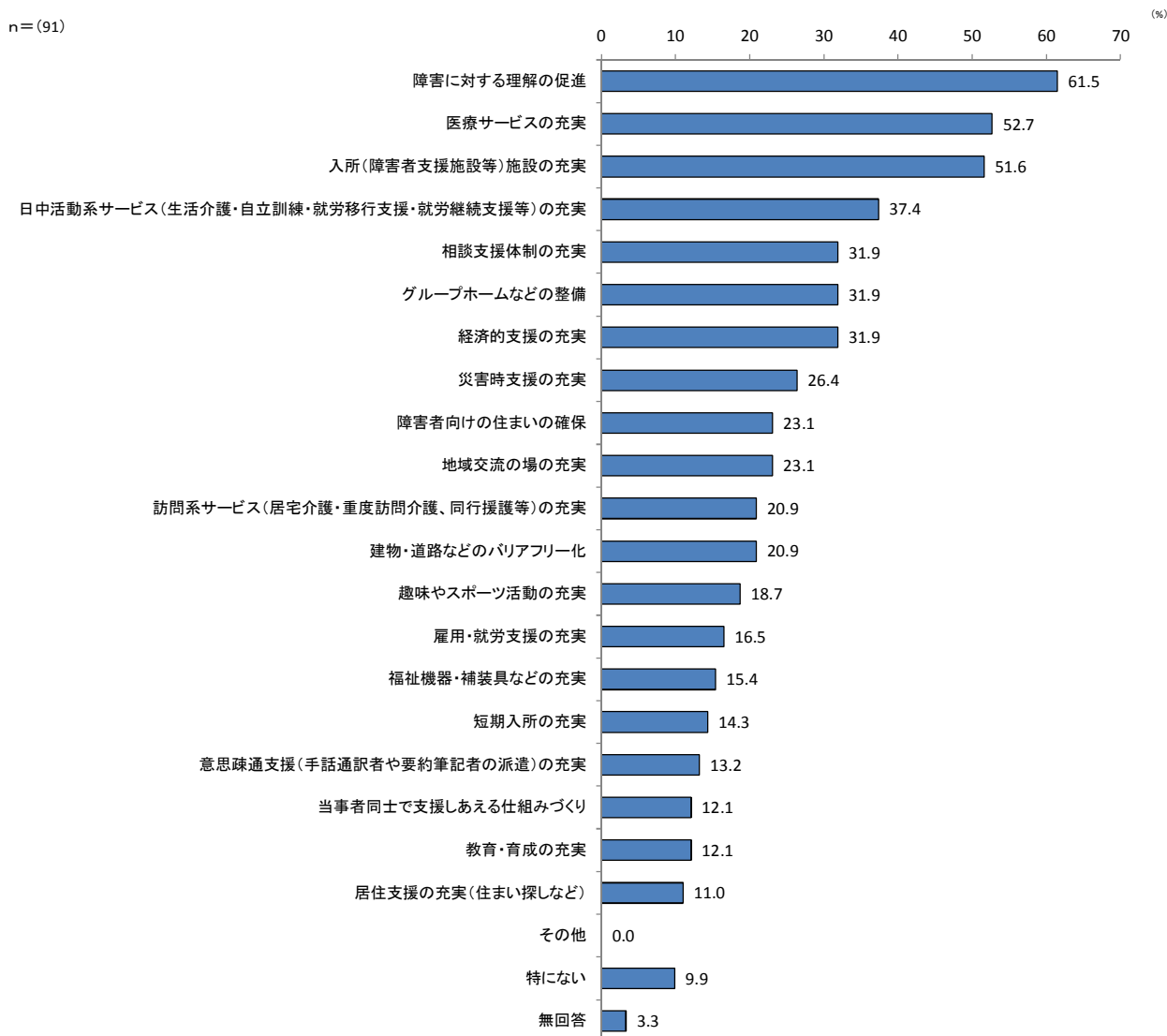
問 28 問 23 で「施設を退所したい(3~5)」と回答した方にお聞きします。  
退所後に暮らす地域にのぞむことは何ですか。(○は3つまで)



退所後に暮らす地域にのぞむことをみると、半数が「住環境が良い」と「家族などが住んでいる」と回答しています。

## (7) 地域で安心して暮らしていくために必要な施策

問29 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)



障害者が地域で安心して暮らしていくために重要な施策としては、「障害に対する理解の促進」が61.5%で最も多く、以下「医療サービスの充実」52.7%、「入所（障害者支援施設等）施設の充実」51.6%と続いています。

《障害の種類別》

	調査数	障害に対する理解の促進	医療サービスの充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護、同行支援等)の充実	日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)の充実	短期入所の充実
身体のみ	6	33.3	16.7	-	-	33.3	-	-	-
知的のみ	56	75.0	62.5	14.3	21.4	35.7	25.0	46.4	17.9
身体+知的	23	43.5	43.5	13.0	13.0	26.1	21.7	34.8	13.0

	調査数	意思疎通支援(手話通訳者や要約筆記者の派遣)の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備	入所(障害者支援施設等)施設の充実	障害者向けの住まいの確保	居住支援の充実(住まい探しなど)	建物・道路などのバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
身体のみ	6	16.7	-	16.7	66.7	-	-	16.7	-
知的のみ	56	14.3	14.3	33.9	58.9	25.0	14.3	23.2	17.9
身体+知的	23	13.0	26.1	30.4	30.4	21.7	8.7	21.7	4.3

	調査数	趣味やスポーツ活動の充実	経済的支援の充実	災害時支援の充実	地域交流の場の充実	特にない	その他	無回答
身体のみ	6	-	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-
知的のみ	56	23.2	39.3	32.1	28.6	8.9	-	-
身体+知的	23	4.3	26.1	21.7	13.0	8.7	-	13.0

障害の種類別にみると、「知的のみ」で「障害に対する理解の促進」が75.0%と特に多くなっています。また、「身体と知的の重複障害」では「障害に対する理解の促進」と医療サービスの充実が43.5%の同数で最も多くなっています。

《地域別》

	調査数	障害に対する理解の促進	医療サービスの充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護、同行援護等)の充実	日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)の充実	短期入所の充実
文京区内	31	74.2	71.0	19.4	9.7	45.2	19.4	38.7	19.4
文京区以外の特別区	6	83.3	50.0	-	50.0	16.7	16.7	50.0	16.7
東京都(23区を除く)	22	36.4	31.8	4.5	13.6	22.7	13.6	31.8	4.5
関東(東京都を除く)	16	50.0	37.5	12.5	18.8	25.0	12.5	31.3	12.5
関東以外	15	73.3	60.0	13.3	20.0	33.3	46.7	46.7	20.0

	調査数	意思疎通支援(手話通訳者や要約筆記者の派遣)の充実	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備	入所(障害者支援施設等)施設の充実	障害者向けの住まいの確保	居住支援の充実(住まい探しなど)	建物・道路などのバリアフリー化	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
文京区内	31	12.9	19.4	22.6	77.4	12.9	9.7	25.8	16.1
文京区以外の特別区	6	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	16.7
東京都(23区を除く)	22	4.5	9.1	40.9	31.8	18.2	4.5	9.1	4.5
関東(東京都を除く)	16	18.8	18.8	25.0	43.8	31.3	12.5	25.0	6.3
関東以外	15	20.0	13.3	53.3	60.0	40.0	26.7	26.7	20.0

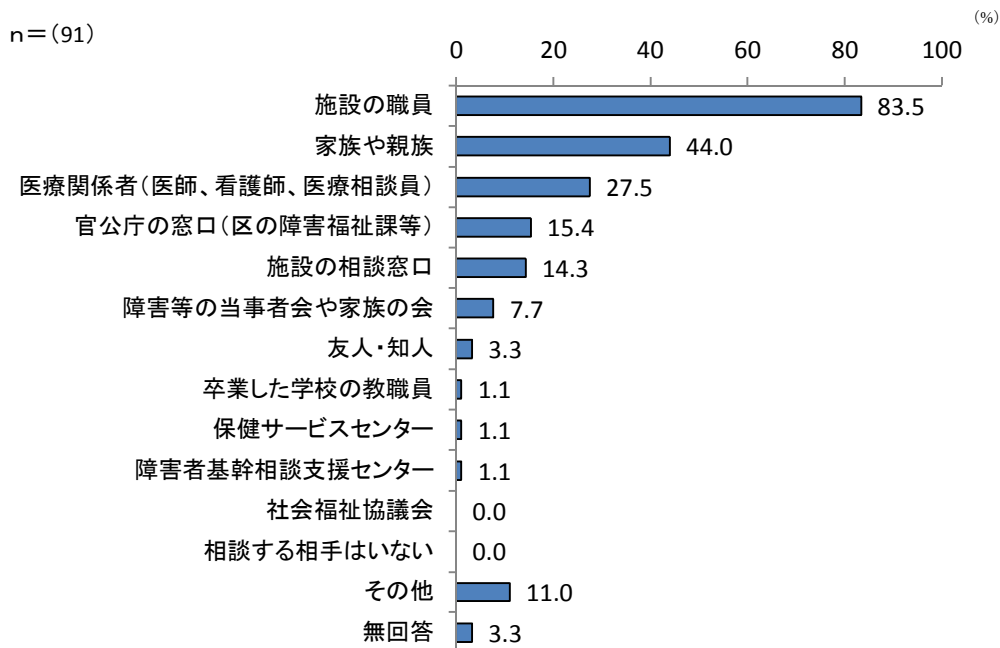
	調査数	趣味やスポーツ活動の充実	経済的支援の充実	災害時支援の充実	地域交流の場の充実	特にない	その他	無回答
文京区内	31	29.0	32.3	32.3	29.0	-	-	-
文京区以外の特別区	6	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-
東京都(23区を除く)	22	18.2	22.7	9.1	9.1	13.6	-	13.6
関東(東京都を除く)	16	18.8	43.8	25.0	37.5	25.0	-	-
関東以外	15	6.7	40.0	40.0	13.3	6.7	-	-

地域別にみると、「東京都(23区を除く)」以外では「障害に対する理解の促進」が最も多く、「東京都(23区を除く)」では「グループホームなどの整備」が40.9%で最も多くなっています。

## 6. 相談や福祉の情報について

### (1) 困った時の相談相手

問30 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)



困ったときの相談相手としては、「施設の職員」が83.5%で最も多く、次いで「家族や親族」の44.0%となっています。

#### 《障害の種類別》

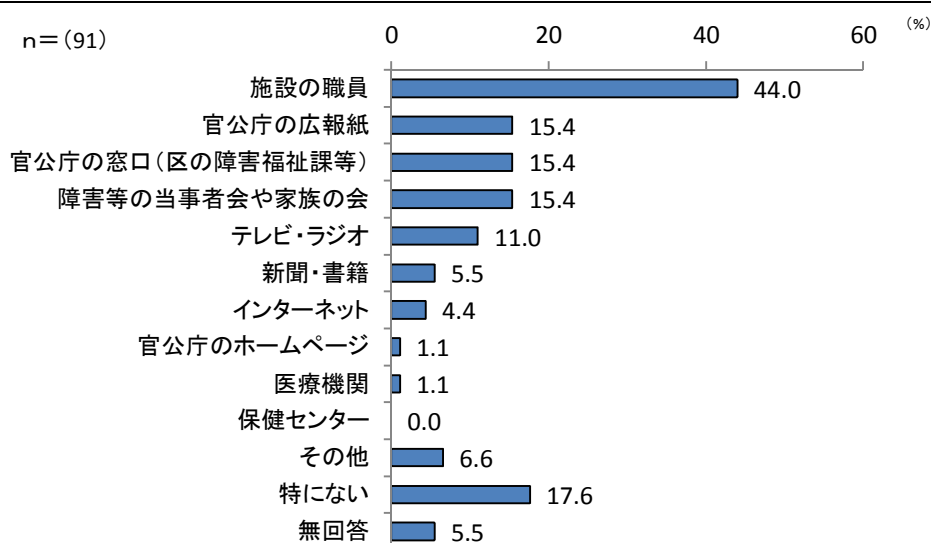
	調査数	家族や親族	施設の職員	施設の相談窓口	友人・知人	卒業した学校の教職員	障害等の当事者会や家族の会	医療関係者(医師、看護師、医療相談員)
身体のみ	6	50.0	66.7	-	16.7	-	-	33.3
知的のみ	56	51.8	85.7	17.9	1.8	-	7.1	28.6
身体+知的	23	34.8	78.3	13.0	-	4.3	13.0	26.1

	調査数	官公庁の窓口(区の障害福祉課等)	保健サービスセンター	基幹相談支援センター	社会福祉協議会	相談する相手はいない	その他	無回答
身体のみ	6	33.3	-	16.7	-	-	50.0	-
知的のみ	56	17.9	1.8	-	-	-	10.7	1.8
身体+知的	23	8.7	-	-	-	-	4.3	8.7

障害の種類別にみると、いずれの障害でも「施設の職員」が最も多く、次いで「家族や親族」となっています。

## (2) 福祉に関する情報の入手先

問31 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇は2つまで)



福祉に関する情報の入手先としては、「施設の職員」が44.0%で最も多く、次いで「官公庁の広報紙」、「官公庁の窓口 (区の障害福祉課等)」、「障害等の当事者や家族の会」がそれぞれ15.4%となっています。

### 《障害の種類別》

	調査数	官公庁の広報紙	官公庁のホームページ	官公庁の窓口 (区の障害福祉課等)	保健センター	テレビ・ラジオ	インターネット	新聞・書籍
身体のみ	6	33.3	-	16.7	-	-	-	-
知的のみ	56	17.9	-	16.1	-	14.3	3.6	7.1
身体+知的	23	8.7	4.3	17.4	-	4.3	4.3	4.3

	調査数	障害等の当事者会や家族の会	医療機関	施設の職員	特にない	その他	無回答
身体のみ	6	16.7	-	33.3	33.3	16.7	-
知的のみ	56	19.6	1.8	46.4	16.1	3.6	3.6
身体+知的	23	8.7	-	34.8	17.4	8.7	13.0

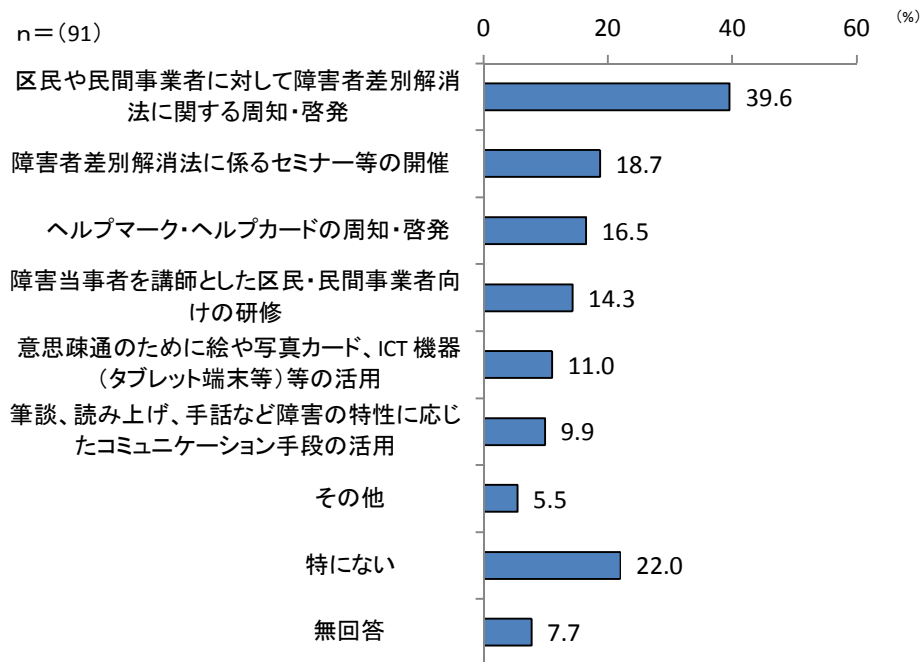
障害の種類別にみると、「知的のみ」で「施設の職員」が46.4%と特に多くなっています。



## 7. 差別解消について

### (1) 合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 32 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)



社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこととしては、「区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が39.6%を占めています。

#### 《障害の種類別》

	調査数	区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした区民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の活用	意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用	ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発
身体のみ	6	33.3	16.7	-	-	-	-
知的のみ	56	48.2	21.4	14.3	16.1	17.9	19.6
身体+知的	23	30.4	17.4	13.0	-	-	8.7

	調査数	特にない	その他	無回答
身体のみ	6	50.0	-	16.7
知的のみ	56	16.1	5.4	5.4
身体+知的	23	26.1	8.7	13.0

障害の種類別にみると、「知的のみ」で「区民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」48.2%と半数近くとなっています。

## 8. 自由意見

問 33 障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見は11件ありました。「福祉」についての意見が54.5%と最も多くなっています。主な意見は以下のとおりです。

(%)

	総数	福祉	障害・疾患	行政	障害理解	その他
自由意見	11	54.5	9.1	9.1	9.1	18.2

### ●主な意見（内容は要約・省略しています）

#### 1. 福祉（6件）

- ・親の高齢化により、自宅～施設、又は自由外出の際に移動支援が使えると助かります。行きたい所、やりたいことがあっても、保護者はなかなか介助が困難になっています。
- ・現在は区外に入所しています。保護者も年齢的に遠くまで面会に行くのは年々困難になります。出来れば文京区内の施設に入所出来ればと思います。

#### 2. 障害理解（1件）

- ・知的障害者は、外見等からわかりにくく、物ごとの理解が困難、意思疎通が苦手な人が多いです。親・家族・介護する人・社会が、障害者本人の心や行動を丁寧に理解し、幸せな暮らしが出来るよう、皆で取り組めればと思います。